※令和４年度以降入学生用

学校番号	１０１４

令和８年度　数学科

教科	数学	科目	数学講座	単位数	２単位	年次	３年次
副教材等	U-CAN の　数学検定３級　ステップアップ問題集						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・授業では、課題に対して、自ら考え、周りの人と協働で考える活動を行います。
・「課題を理解する→結果を予想する→解決の方向を構想する→解決する→解決の過程を振り返ってよりよい解決を考える」といった一連の過程で、自分の考えを発表したり、議論したりする数学的活動を行います。
・定期的に課題の提出をしてもらいます。答え合わせは自分がどこでつまずいているかを確認するために重要ですので、必ず答え合わせをして提出すること。

2　学習の到達目標

数学的な見方・考え方を働かせ、数学的活動を通して、数学的に考える資質・能力を次のとおり育成することをめざす。
(1)　数の計算、式の計算、式の展開・因数分解、方程式の解法についての基本的な概念や原理・法則を体系的に理解するとともに、事象を数学化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする技能を身に付けるようにする。
(2)　図形の構成要素間の関係に着目し、図形の性質や計量について論理的に考察し表現する力、関数関係に着目し、事象を的確に表現してその特徴を図と式の相互に関連付けて考察する力を養う。
(3)　数学のよさを認識し数学を活用しようとする態度、粘り強く考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態度、問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとする態度や創造性の基礎を養う。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	数の計算、式の計算、式の展開・因数分解、方程式の解法における基本的な概念や原理・法則を体系的に理解するとともに、事象を数学化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする技能を身に付けている。	図形の構成要素間の関係に着目し、図形の性質や計量について論理的に考察し表現する力、事象を的確に表現してその特徴を図と式の相互に関連付けて考察することができる。	数と計算、量と測定、図形、数量関係を通して数学のよさを認識し、数学を活用しようとする態度、粘り強く考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態度、問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとしている。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

※令和４年度以降入学生用

４　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
前期中間	数と計算	数の計算 式の計算 式の展開・因数分解 方程式	a:式を目的に応じて変形することができる。 b: 学習した計算方法と関連付けて、式を多面的に考察することができる。 c: 日常の事象や社会の事象などを数学的に捉えて、数や式の計算を問題解決に活用しようとしている。	定期考査 確認テスト	定期考査 授業ノート	授業ノート
前期期末	量と測定・図形	式の値・関数 図形の角 平行線と長さ・円周角	a: 平面図形の性質を理解し、計量をすることができる。 b: 図形の構成要素間の関係に着目し、日常の事象や社会の事象を数学的に捉え、問題を解決し、考察することができる。 c: 図形の性質における考え方の有用性を認識し、平面の計量に活用しようとしている。	定期考査 確認テスト	定期考査 授業ノート	授業ノート
後期中間	数と計算（応用）	数の計算(応用) 式の計算(応用) 式の展開・因数分解(応用) 方程式(応用)	a:式を目的に応じて変形することができる。 b: 学習した計算方法と関連付けて、式を多面的に考察することができる。 c: 日常の事象や社会の事象などを数学的に捉えて、数や式の計算を問題解決に活用しようとしている。	定期考査 確認テスト	定期考査 授業ノート	授業ノート
後期期末	量と測定・図形（応用）	式の値・関数(応用) 図形の角(応用) 平行線と長さ・円周角(応用)	a: 平面図形の性質を理解し、計量をすることができる。 b: 図形の構成要素間の関係に着目し、日常の事象や社会の事象を数学的に捉え、問題を解決し、考察することができる。 c: 図形の性質における考え方の有用性を認識し、平面の計量に活用しようとしている。	定期考査 確認テスト	定期考査 授業ノート	授業ノート

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度